

グローバル環境システムリーダーコース(GESL) (2022年度入学者)

【サティフィケート名称】

「グローバル環境システムリーダー(Global Environmental System Leaders)」

【サティフィケート修得要件】

下記 1～5 の要件を満たし、後期博士課程を修了した者にのみ、本コースで修得した専門性「グローバル環境システムリーダープログラム」が付記された学位記とともに、政策・メディア研究科と理工学研究科の連携体制の下でメジャー(主専攻分野)およびマイナー(副専攻分野)の学問分野を修得したことを示すGESLサティフィケートが授与されます。

科目区分		科目名
1	基礎科目	環境情報システム構築法または大規模環境システム構築法から 2 単位以上、環境科学技術・政策特論またはグローバル環境政策特論から 2 単位以上、合計 4 単位以上を、修士課程からの通算で修得すること。
2	マイナー研究成果発表	GESL合同研究科セミナーにおいて、マイナー研究の成果を発表し、審査に合格すること。 上記1基礎科目の条件を充足したのち、マイナー研究成果報告書を提出し、マイナー研究分野に対応可能な研究科委員4名以上を審査員とし、口頭発表を行うこと。
3	国際トレーニング科目	原則として6か月以上の国際的なフィールドワークまたはインターンシップを実施し、学修研究活動の成果をGESL合同研究科セミナーにおいて「国際トレーニング成果発表」として口頭発表し、審査に合格すること。 修士課程からの通算で、フィールドワーク A/B/C/D(各 2 単位)、インターンシップ A/B(各 2 単位)および博士課程設置科目の先端フィールドワーク A(8 単位)/B(4単位)/C(4 単位)/D(6 単位)の中から合計 8 単位以上を取得すること。
4	国際会議発表	国際会議において、英語による発表を 2 回以上行うこと。
5	語学能力	Computer Based TOEFL213 点以上 (Paper Based TOEFL550 点以上、 Internet Based TOEFL79-80 点以上でも可)、 TOEIC730 点以上、実用英語技能検定準 1 級以上の英語能力、 または、IELTS のバンドスコア 6以上を有すること。

* 各要件の詳細については、GESLコースガイドラインを参照してください。